

中央公論美術出版

平成29年2月刊行

平安仏教彫刻史にみる中国憧憬

佐々木守俊（岡山大学文学部准教授）著

A5判上製函入

カラー口絵八ページ

本文三六〇頁

ISBN 978-4-8055-0781-0 C3071

本体価格 一、〇〇〇円＋税

第十五尊者像（十六羅漢像のうち） 大慈恩寺蔵



本書は平安時代仏教彫像の成立における中国からの影響について、おもに密教図像の請来とその彫像化の問題、および版画（印仏・摺仏）の受容と像内納入の流行の問題を中心に論じる、学術研究成果である。

目次

序論

第一部 密教図像の請来と彫像化

第一章 神護寺五大虚空蔵菩薩坐像の図像について

第二章 神護寺五大虚空蔵菩薩坐像再考

第三章 安祥寺五智如来坐像について

第二部 印仏・摺仏の受容

第四章 入唐僧と檀印

第五章 仏教版画の呼称について

第六章 『地藏菩薩応驗記』所収「空観寺僧定法摸写地蔵感応記」について

第三部 十二世紀の諸相

第七章 像内納入品がうむ奇瑞

第八章 三宝院定海の吉祥天造像

第九章 千仏をあらわす印仏の像内納入について

第十章 五台山「一万文殊」像から蓮華王院千体千手

観音菩薩像へ

結論

【著者略歴】

佐々木守俊（ささき・もりとし）

昭和43年、東京都生まれ。平成13年3月、東京大学大学院人文社会系研究科博士課程単位取得満期退学。同年4月より町田市立国際版画美術館学芸員。平成23年、東京大学より博士（文学）の学位授与を受ける。平成25年4月より岡山大学大学院社会文化科学研究科准教授。著作に『歌川広重 保永堂版 東海道五拾三次』（『謎解き浮世絵叢書』、町田市立国際版画美術館監修、二玄社、平成22年）、『日本美術全集』第4巻 密教寺院から平等院へ（伊東史朗責任編集、共著、小学館、平成26年）などがある。

《関連書籍》

院政期仏画と唐宋絵画

本体価格 17,000 円＋税

増記隆介 著

我が国の仏教絵画の中でも特に院政期を対象として、唐代美術に深く依拠して成立した奈良や平安初期の絵画様式からの和様化を、唐代以降の東アジアにおける絵画史の考察から、様式形成の様相を描き出す気鋭の論集。

A5 判上製函入 口絵 16 頁 本文 576 頁 図版 201 点
ISBN 978-4-8055-0731-5 C3052

平安密教彫刻論

本体価格 15,000 円＋税

津田徹英 著

400年にわたる平安密教彫刻がどのように展開していったのか、経典・儀軌の精密な読解と密教図像学的手法を駆使して各尊像の図像表現を解明し、密教造像の意義と展望を示す著者永年の研究成果。

A5 判上製函入 口絵 16 頁 本文 784 頁 図版 616 点
ISBN 978-4-8055-0751-3 C3071

中央公論美術出版

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 1-10-1
IVYビル 6F

Tel: 03-5577-4797 Fax: 03-5577-4798

お取り扱い